

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名:			株式会社 桑原雷声堂																	基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		当社の経営理念「企業の成長、生活の向上」を基本に経営者と従業員が団結し経営(売上)目標を達成できるよう実践しています。								8	9										17														
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		プライバシーマークを取得にあたり、法令遵守について研修を行っています。規定等はいつでも閲覧できるようにし、暴力団追放運動のポスターを掲示し社外にアピールしています。																	16																
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会議や朝礼の際に不正行為には関与しないよう指導をし、該当する取引先とは取引をしないよう周知しています。										10							16																
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		組織図を部門ごとに整備して体制を整えています。																	16																
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		デザイン等作成の際、特許・商標・著作権侵害がないかメーカー等と連携しダブルチェックを実施しています。重要性を認識し、依頼があったとしても上記を侵害するようなデザインの作成はお断りしています。								8.2 8.3	9							16																	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		プライバシーマークを取得し遵守することで個人情報漏洩等がないように対策をしています。																	16																
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		適切に意見を聞き、弊社の強みである多彩な取引先があることを活かして活動に適した商品を提案することで適切に対処しています。																16	17																
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17																
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17																
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。		●									8	9									17															
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17															
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用条件や職場環境において、差別しない体制を維持運営しています。中途採用時には年齢、性別等を条件をつけず求人を行い採用しています。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7																	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安心して働ける職場環境を目指しています。特にメンタルヘルスに関しては部署の責任者には部下が安心して発言、相談できるようにコミュニケーションをはかるように指導し、その発言、相談内容については人事評価しないようにしています。			3					8.8																									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員(正社員、パート)の公正な待遇を行っています。					5.5			8.5		10.2 10.3																							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		残業時間等の取り決めにより、健康・家庭環境ともに影響がないと判断しています。年間休日を増やす取り組みをしています。			3		5.5			8.5 8.8		10.3																							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		SNS教育などのセミナーに参加・提供し、他の従業員に内容を共有し教育を行っています。				4	5.5			8	9																								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		交通事故等の注意喚起・健康診断の再受診をあった場合の促しを徹底しています。			3					8									17																
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		昇進、昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はありません。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7																	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	ウェブ会議に対応しています。			3					8	9.1		11	12																					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	作業報告などのDX化を導入して、その他の業務についても順次検討を続けています。								8	9.1		11	12																					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12																					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環 境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物・有機化学物質は置き場所を決め、再資源リサイクル事業者である㈱クリンケア産業様に月2回の処理を依頼しています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		2019年・2020年に照明全体をLEDに交換しています。 簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、こまめな消灯・適切なエアコン温度の管理を徹底しています。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており1日の行動予定を決め、無駄な走行せずにCO2削減に取り組んでいます。 走行ルートのフィードバックを行うことで個人の意識改善にも取り組んでいます。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		レジ袋を廃止・商品の簡易包装に取り組んでいます。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		リサイクルトナー・再生紙を使用し、裏紙も無駄なく使うことで資源の有効活用に取り組んでいます。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		社内に節水プレートを設置し、従業員に周知しています。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		環境に配慮した商品を消費者や企業に提供・販売できるようにSDGs関連商品を扱う仕入先の開拓を行っています。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	会社周りの植栽維持管理を行い、従業員の緑化意識を高めています。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		該当する商品、伴うリスクを洗い出しています。対策として保険に加入し、方が一に備えています。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		店舗内は車椅子等の移動に支障がないようにスペースを確保しています。お子様連れの方にもベビーバット・サークルを設けて安心してご購入物をしていただけるように取り組んでいます。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	希望が特にならない場合は地産の物から案内できるように取り組んでいます。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	取組みの一環として2020年3月に木造の倉庫を新設しています。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		弊社校区内の日吉小学校で開催される夏祭りイベントに毎年ボランティアでお手伝いしています。またNPO法人プレイズ熊本と連携してくわはらカップと称して少年サッカー大会を開催しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		定期的に避難訓練を行い、地域のハザードマップを確認する等の周知を行っています。防災備蓄・グッズも常備しています。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	熊本地震以後、力を入れて防災グッズの販売に力を入れています。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17